

総合美術力を生かし、心豊かな社会の実現に貢献する

視聴者のみなさまへ NHKのアートは、

NHKアート



小野木 昌史社長

第97回放送記念日、おめでとうございます。NHKアートは今年、創立61年目を迎えます。創立以来、放送技術の発展とともに質の高い映像

美術への進化を促し、また放送を取り巻く環境の変化とともに時代に合った美術力をアップデートし、放送文化を支えてまいりました。

番組美術では、リアルとデジタルを融合させ、その番組の世界を広げることができる技術がますます求められるようになってきました。NHKアートは、その要求に応えることができるよう体制を整えています。2021年に放送されたNHK大河ドラマ『青天を衝け』では、時空を超えて物語を見つめる徳川家康、現地に行かずに制作したパブリックCGVFXなど、

特微的なシーンの美術をリアルとデジタルのメンバーがともに創りました。また2021年4月に放送されたNHKまるドラ『さけいのか』では、AIを用いたCG・VFXによる顔の入れ替えを担当しました。このドラマはほとんどの大人が同じ顔をした不自然な国に暮らす高校生をたしたちが支えてきたテレビの放送文化には、日

えはとても重要な役割を担い、番組を見た皆様からは高く評価していただきました。私たちは放送コンテンツを豊かにする挑戦を続けています。創立61年、10年後もわたしたちの美術力で放送文化を支えていくこと

ができるよう、ユニバーサルデザインやSDGsを生かした美術セットの研究・開発にも取り組んでいます。インターネットを使った動画配信の勢いはこれから拡大しつづけることだと思います。しかしわたしたちが支えてきたテレビの放送文化には、日

てきたリアルを深化を進めるだけでなく、DX化に取り組むことができる人材の育成を積極的に進めることで、放送文化をより魅力的なものにしていきたいと考えております。私たちが持つ美術の力を信じて、リアル・デジタル、両方の番組美術のよさを最大限に生かし視聴者のみなさまに届くコンテンツをより魅力あるものにするのができるよう映像表現の最先端を追求してまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

えはとても重要な役割を担い、番組を見た皆様からは高く評価していただきました。私たちは放送コンテンツを豊かにする挑戦を続けています。創立61年、10年後もわたしたちの美術力で放送文化を支えていくこと

ができるよう、ユニバーサルデザインやSDGsを生かした美術セットの研究・開発にも取り組んでいます。インターネットを使った動画配信の勢いはこれから拡大しつづけることだと思います。しかしわたしたちが支えてきたテレビの放送文化には、日

てきたリアルを深化を進めるだけでなく、DX化に取り組むことができる人材の育成を積極的に進めることで、放送文化をより魅力的なものにしていきたいと考えております。私たちが持つ美術の力を信じて、リアル・デジタル、両方の番組美術のよさを最大限に生かし視聴者のみなさまに届くコンテンツをより魅力あるものにするのができるよう映像表現の最先端を追求してまいります。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。